

キャリア教育を基盤とした、小中及び地域との連携

～地域の「人・もの・こと」とのかかわりを通して～ 【 山口市 白石中学校区 】

地域の概要

白石中学校区は、県政・市政の中核的機関や官公署が集まる、旧市内の中心に位置しています。本学校区には、附属小・中学校・山口高校や、白石地域交流センター・市民会館・山口市立図書館・歴史民俗資料館・県立の図書館・美術館・博物館・埋蔵文化財センターなどの教育・文化施設が集中しています。

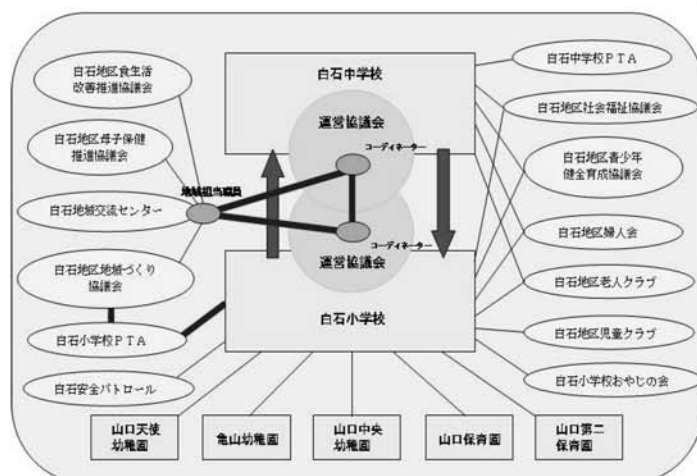
人 口	12,663 人	
世 帯 数	5,791 世帯	
対象校及び 児童生徒数	白石中学校	273 人
	白石小学校	660 人

また、旧国道9号が校区の中央を南北に走り、主としてその東側は商店街、西側は学校・官公署・住宅地となっています。本中学校区は、北に隣接する大殿中学校区とともに、大内氏が勢威を誇り、西の京といわれた時代から江戸時代・幕末を経て、明治維新に至る遺跡旧跡が各所にあります。戦国城址鴻ノ峰と、伝説を秘めた亀山公園を背にした本中学校区は、名実ともに古都山口市の中心に位置しているといえます。

組織の内容

白石小・中学校は、平成23年度からコミュニティ・スクールとして、それぞれ学校運営協議会を組織しています。自治会連合会長、地域交流センター所長や、地域の方々をはじめとした有識者、PTA代表等で構成されています。

小学校では、平成24年度より、3名の地域コーディネーターを委嘱し、クラブ活動の外部講師を探したり、学校行事の際に地域と学校をつなぐ役割を担ったりしています。



白石地域協育ネット構想図

また、白石地区地域づくり協議会の事業にPTAが参加し、「あいらぶ白石」「ずっと残したい私のお宝写真展」「白石環境マップ作成」「環境美化&エコ推進活動」の3つの事業を展開し、小学校の総合的な学習の時間との連携を構築しているところです。

中学校では、地元企業や事業所等と連携した教育活動として、職場体験を行っています。運動会などの学校行事や授業参観日には、地域の諸団体の方々を招き、評価をいただくなどして「開かれた学校づくり」を進めています。逆に、地域交流センターが主催する「白石フェスティバル」や、社会福祉協議会が開催する「敬老会」に、中学生がボランティアスタッフとして参加するなど、相互交流が盛んです。生徒は地域のために働くことによって、その素晴らしさを実感するとともに、職場体験で学習したことをさらに深めています。

このように、白石小・中学校は、構想図にあるように、多くの地域の方々に支えられ、安心して特色ある教育活動を行うことができているといえます。